

「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」 中間見直しの骨子案について

見直しに当たっては、現行基本計画の構成を踏襲しつつ、社会情勢の変化や計画の推進状況のほか、条例の改正内容を踏まえ、主に主要目標、施策体系、推進指標について見直しの検討を行います。

現行基本計画の構成

序章 基本計画策定にあたって

第1章 宮城県の食と農を取り巻く情勢とこれまでの取組

- 第1節 食と農を取り巻く情勢
- 第2節 これまでの取組による成果と課題

第2章 基本計画で目指す将来の姿

- 第1節 基本計画で目指す食と農の将来像
- 第2節 基本計画で掲げる目標

第3章 将来像の実現に向けた施策の推進方向

- 第1節 施策体系と推進指標
- 第2節 各施策の推進方向

第4章 将来像の実現に向けた推進体制

- 第1節 各主体の役割
- 第2節 関連計画との連携

<参考資料>
効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標
宮城県産業振興審議会名簿及び開催状況
みやぎ食と農の県民条例

現行基本計画の施策体系

I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

- 施策1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
- 施策2 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化
- 施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

- 施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成
- 施策5 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 施策6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 施策7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 施策9 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

- 施策10 関係人口と共に創る活力ある農村
- 施策11 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 施策12 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 施策13 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

主な見直しの視点

市場ニーズ
の変化への
対応

人材の確保
・育成と経
営基盤強化

先進技術の
導入による
生産性向上

環境への配慮
と持続可能な
生産

農村の維持
・活性化

農村の
防災力強化

主な検討事項

(1) 主要目標

- 農業産出額（億円）
1,939 (R元) ⇒ 2,288 (R12)
- 認定農業者数（経営体）
6,279 (R元) ⇒ 6,300 (R12)
- 農地面積（ha）
126,300 (R元) ⇒ 122,175 (R12)

⇒ 現行の目標値の見直し

⇒ 食に関する目標を新設

(2) 施策体系

⇒ 現行の施策の見直し

⇒ 新たな施策の新設

<案1>

環境に配慮した生産の取組支援と理解促進

<案2>

野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

(3) 推進指標

⇒ 施策体系の見直しを反映

⇒ 実績や現状を踏まえて現行指標の見直し